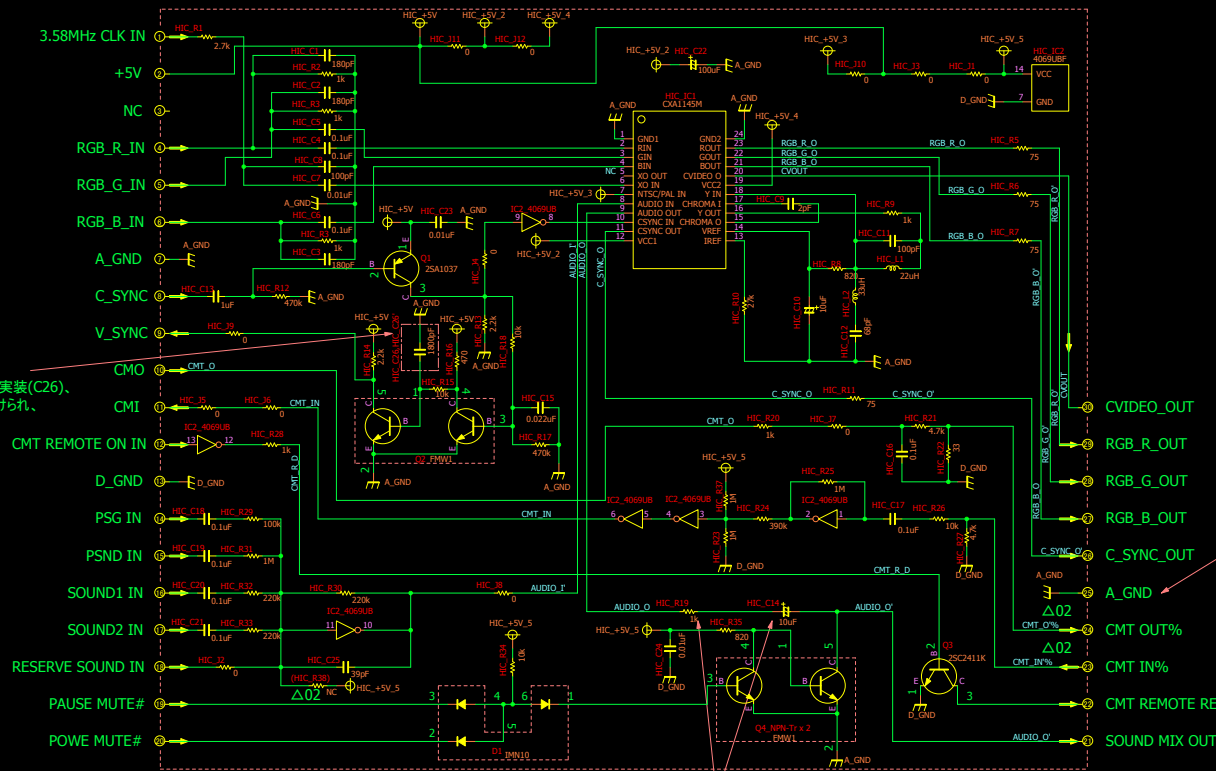


Panasonic Parts No.:DAMCNX0039XT
SONY Parts No.:1-464-877-11

HYBRID IC RGB-NTSC ENCODER,CMT I/F,SOUND AMP,PAUSE/POWER MUTE

mitsumi EMC-NX0039



実基板にはHB-F1XDの回路原因に載ってないコンデンサがある。古いバージョンは穴挿入部品を表面実装(C26)、新しいバージョンでは実装パッドが設けられ、表面実装部品(C26)を接続。

BACK面でシールドされ、BACK面経由で7番ピンと接続。

EMC-NX0039が搭載されている機種

・SONY
HB-F1II
HB-F1XD
HB-F1XDmk2
HB-F1XDJ
HB-F1XV

・Panasonic
FS-A1MKII(FS-A1MK2)
FS-A1F

・Kawai
KMC-5000(Panasonic FS-A1F OEM)

R19とC14
原図回路図と実際の回路では
両者の接続前後関係が逆

- ・信号名末尾に「◇」が含まれるものはプルアップされていることを示す。
- ・信号名末尾に「%」が含まれるものはプルダウンされていることを示す。
- ・端子に「*」が記載されているものはオープンコレクタやオープンドレインで駆動されていることを示す。
- ・信号名末尾に「!」が記載されているものはリセット時に入力端子となり、内部機能選択が行える端子を示す。
- ・プルアップ/プルダウン記載のないものでもLSI内部でされていることもあるので注意。
- ・抵抗などで未実装であってもOQなど値の書いてあるものは、パターンでショートされている。
- ・ロットによってトランジスタやROMの型番が異なることがある。それによって実装されるプルアップ/プルダウン抵抗やその値も異なる可能性がある。
- ・「→」や「←」は信号の入出力方向を表す(電流の向きではない)。
- ・「-」内もしくは「()」記載の部品は未実装、または別バージョンで実装となっている範囲。
- ・破線「- - -」内はチップ内もしくはモジュール内配線の範囲。

参考資料

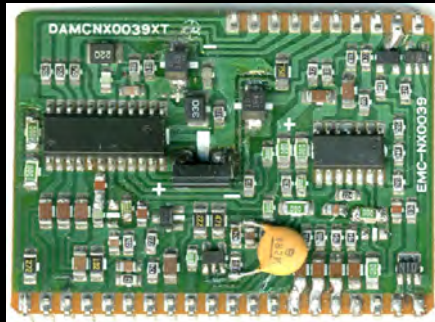
- ・「FS-A1ST サービスマニュアル」松下電器産業—△02
- ・「FS-A1GT サービスマニュアル」松下電器産業—△02
- ・「HB-F1XD サービスマニュアル」SONY

- ↑
- 回路図 原図(ただし部品抜け(C26)と部品位置関係間違い(R19とC14)あり)
- ・「V9938 テクニカルデータブック」ヤマハ
- ・「V9958 テクニカルデータブック」ヤマハ

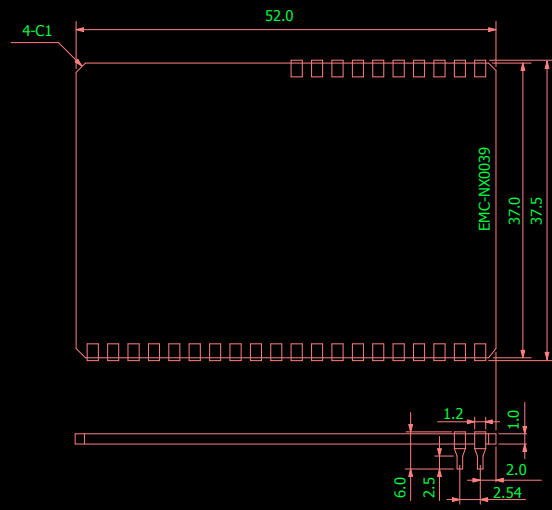
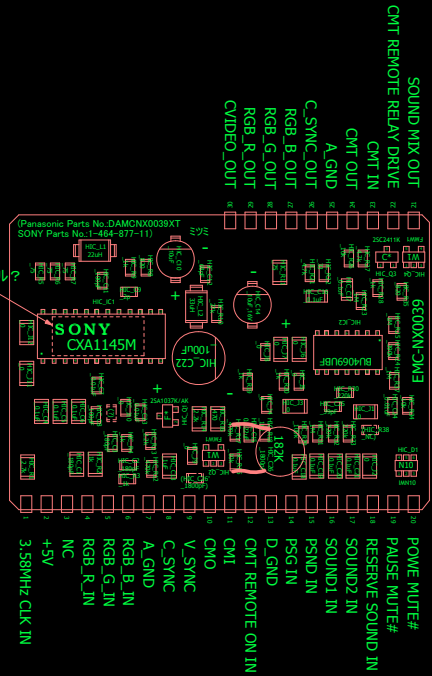
D1 ROHM 1MN10	Q1 ROHM 2SA1037/AK	Q2,Q4 ROHM FMW1	Q3 ROHM 2SC2411K
	捺印はFQ または FR,FS		捺印はCP または CQ,CR

更新履歴(1/2)	更新履歴(2/2)
<p>更新履歴 2020/04/19 Rev.01 新規作成 2020/05/19 Rev.02(変更箇所)△02マーク 計5箇所 信号プルダウン表記追加(CMT_O%,CMT_IN%) 参考資料表記消去 HIC_R38を未実装部品として回路図表記に変更 部品配置図(2ページ目)を追加</p>	

MITSUMI HYBRID IC EMC-NX0039 SONY Parts No.1-464-877-11 Panasonic Parts No.:DAMCNX0039XT:	
BABAX http://green.ap.teacup.com/junker/ http://blogs.yahoo.co.jp/dx89596	Revision. 02



基板ロットラベル?



MITSUMI HYBRID IC EMC-NX0039 SONY Parts No.1-464-877-11 Panasonic Parts No.:DMACNX0039XT:	
BABAX http://green.ap.teacup.com/junker/ http://blogs.yahoo.co.jp/dx89596	Revision. 02